

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	113,105千円	118,233千円	119,211千円	0千円
	総人件費	3,714千円	3,663千円	3,663千円	
	総事業コスト	116,819千円	121,896千円	122,874千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	11	図書館維持管理に要する経費

事務事業名	01 図書館及び視聴覚センターの維持管理事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	H28年度				H29年度					
根拠法令等	-	改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。				改善目標	図書館及び視聴覚センターを利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。			
事業分類	F 施設等維持管理事業	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・アルス清掃及び施設設備管理業務 ・警備業務 ・植栽管理業務委託 ・アルスホール電動吊物昇降装置制御盤(中板)交換修繕工事 ・アルス熱源切替バルブ交換修繕工事 ・アルス区分開閉器設置修繕工事 ・アルス空調機整備修繕工事 ・図書館和室・集会室ロスナイ交換修繕工事 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・アルス清掃及び施設設備管理業務 ・警備業務 ・植栽管理業務委託 ・アルス熱源切替バルブ交換修繕工事 ・アルス還水ポンプ・還水槽交換修繕工事 ・アルス中央監視装置部品交換修繕工事 ・アルス電力計交換修繕工事 ・図書館空調機修繕工事 			
執行体制	一部委託	活動実績	アルス清掃及び施設設備管理業務・警備業務・植栽管理業務委託等及びアルスホール電動吊物昇降装置制御盤(中板)交換修繕工事・アルス熱源切替バルブ交換修繕工事・アルス区分開閉器設置修繕工事・アルス空調機整備修繕工事・図書館集会室ロスナイ交換修繕工事・その他修繕については、ほぼ計画どおりに執行することができた。				上半期活動実績	-			
事業の目的	市民の生涯学習の拠点である、中央図書館及び視聴覚センターを安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行うこと。	成果	アルス清掃及び施設設備管理業務委託等及びアルスホール電動吊物昇降装置制御盤(中板)交換修繕工事・その他修繕については、ほぼ計画通りに執行し、市民が、安全で快適に使用できるよう、適切な維持管理を行うことができた。				上半期成果	-			
事業の概要	年間を通しての施設・設備の維持管理業務委託等及び施設・設備修繕必要箇所の修繕工事等の施工等を行い、安全で使いやすい施設の維持管理に努める。主なものはアルス冷却塔交換修繕工事、アルス地下排水ポンプ交換修繕工事等である。	課題	施設設備は、年数が増すごとに老朽化の度合いを増してくるので、今後、修理箇所が増加してくると考えられる。これに、優先順位をつけ、計画的に適切に対応する必要がある。				課題	-			
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
		事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初					
		事業費(A)	113,105千円	118,233千円	119,211千円	0千円					
		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
		地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
		その他特財	35,722千円	32,332千円	32,954千円	0千円					
		一般財源	77,383千円	85,901千円	86,257千円	0千円					
		人件費(B)	3,714千円	3,663千円	3,663千円						
		正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人					
		内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間					
		臨時職員等	無	無	無						
		事業コスト(A+B)	116,819千円	121,896千円	122,874千円						
		H30年度当初積算根拠	-								
		H30年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	01 読書推進事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	-	実績	-	-	-	-	-	-	-		
個別計画	-	H28年度				H29年度					
根拠法令等	特になし	改善目標	読書推進及び図書館利用促進に向け、事業の広報をし、多くの参加者を募る。				改善目標	読書推進及び図書館利用促進に向け、ホームページや学び舎等により事業の広報をし、多くの参加者を募る。			
事業分類	A 任意的事業	事業計画	・わくわくランド事業 開催日：5月7日 ・ファーストブック講座 開催日：3月13日，19日 ・出前講座（随時）				事業計画	・わくわくランド事業 ・ファーストブック講座 ・出前講座			
執行体制	職員のみ	活動実績	・わくわくランド事業 開催日：5月7日 ・ファーストブック講座 開催日：3月13日，19日 ・出前講座 7回				上半期活動実績	-			
事業の目的	年代に対応した事業を数多く開催することによって、読書活動の推進と図書館利用の推進を図るため。	成果	読書推進及び図書館利用促進活動ができた。				上半期成果	-			
事業の概要	<わくわくランド事業> こども読書週間にあわせ低年齢者向けの事業(おはなし会，パネルシアター等)を開催する。 <ファーストブック講座> 赤ちゃんと保護者が絵本を通じて、ふれあうことの楽しさを伝え、子育てに絵本を活用するきっかけを作る。	課題	読書推進事業の参加について、多くの参加をいただけるよう、日程を検討し、広報等を広く行う必要がある。				課題	-			
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初				
		事業費(A)		0千円	0千円	16千円	0千円				
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円				
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円				
		一般財源		0千円	0千円	16千円	0千円				
		人件費(B)		3,795千円	3,716千円	3,716千円					
		正職員		0.50人	0.50人	0.50人					
		従事割合		30.00時間	20.00時間	20.00時間					
		時間外勤務									
		臨時職員等		無	無	無					
		事業コスト(A+B)		3,795千円	3,716千円	3,732千円					
		H30年度当初積算根拠		-							
		H30年度の方向性		-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要 する 経 費 全 体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	02	自動車図書館の運営事業	指標名	貸出冊数	指標種別	成果指標	指標の概要	自動車図書館(2台)で貸出しを行った年間資料冊数							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
	-	-	-	-	-	55000	55000	55000	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	実績	46559	43254	47889							
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-	
根拠法令等	-	-	-	-	改善目標	・貸出数や利用者数が少なくなったステーションの見直し。				改善目標	秀峰筑波義務教育学校開校に伴うステーション再編。				
事業分類	A	任意的事業	事業計画	市内48ヶ所に設けたステーションに火曜日から金曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。	事業計画	・広報している日程表に従い自動車図書館を運行する。 ・H30年度にステーションの再編をおこなうため、日程の策定と市民への周知を行う。 ・図書館窓口にて日程表を配布するほか、広報つくば4月号、10月号やHPに日程表を掲載する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
執行体制	職員のみ	活動実績	・ステーションとなっている小学校で新入生を対象に新たにカードを発行する「新一年生カード」を実施。 ・運行日数：171日、利用者人数：12,022人	上半期活動実績	-	事業コスト	0千円	1,178千円	1,229千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	市の広大な面積をカバーし図書館のある市中央部と周辺地区における地域間格差を減少させ、地域図書館としての役割の一部を担うため。	成果	図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。	上半期成果	-	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	市内48ヶ所に設けたステーションに火曜日から金曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出および返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。	課題	・H30年度のつくば北部地区の小学校統廃合に向けたステーションの再編。 ・自動車図書館車の老朽化。	課題	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
	H29環境関連性	-	-	-	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
						一般財源	0千円	1,178千円	1,229千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
						人件費(B)	11,156千円	11,003千円	11,016千円						
						正職員	1.50人	1.50人	1.50人						
						従事割合	5.00時間	5.00時間	10.00時間						
						時間外勤務									
						臨時職員等	無	有	有						
						事業コスト(A+B)	11,156千円	12,181千円	12,245千円						
						H30年度当初積算根拠	-								
						事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
						有効性	中：適切な成果が得られている	有効性	-	H30年度の方向性	-	理由	-		
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている	効率性	-						
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名		03 学校図書館支援事業		指標名	ブックトーク事業参加校				指標種別	活動結果指標			指標の概要	学校訪問ブックトーク参加校(市内小中学校)				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		- - - -		実績	42	45	46	-				その他の指標	-					
個別計画		-		H28年度				H29年度										
根拠法令等		特になし		改善目標	引き続き学校図書館支援にあたり、学校図書館の研修指導等については、学校や教育指導課との調整をする。また、図書館で行っている支援事業への参加を推進する。				改善目標	引き続き学校図書館支援にあたり、学校図書館の研修指導等については、学校や教育指導課との調整をする。また、図書館で行っている支援事業への参加を推進する。								
事業分類		A 任意的事業		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出し 職場体験学習 ジュニア図書館 学校訪問ブックトーク事業 社会科見学 司書教諭補助員研修会 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 団体貸出し 職場体験学習 学校訪問ブックトーク事業 社会科見学 司書教諭補助員研修会 				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制		職員のみ		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係団体貸出し 54回 6,296冊 職場体験学習 12校39人 ジュニア図書館 45人 学校訪問ブックトーク事業 46校 (小学校37校, 中学校9校) 社会科見学 6校 職場見学 5校 司書教諭補助員研修会 (8/9学校図書館研修講座 86人参加) 				上半期活動実績	-				事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的		子どもたちが集う魅力ある学校図書館づくりを支援するとともに、司書教諭、司書教諭補助員等をサポートし、子どもたちが学校や家庭で読書に親しむ機会及び学校図書館活動を充実にするため。		成果	学校図書館と連携し、読書推進が図れた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要		学校訪問ブックトーク事業、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修		課題	学校図書館支援については、概ね成果を得ていると思われる。課題としては、学校図書館司書教諭補助員に対する研修指導等について、学校や教育指導課との調整を行い実施方法の検討が必要と思われる。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-			一般財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			人件費(B)	2,972千円	2,931千円	2,958千円			
												正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人		
												時間外勤務	0.00時間	0.00時間	10.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	2,972千円	2,931千円	2,958千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	05 視聴覚教材機材の貸出事務 (視聴覚ライブラリー)	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略	-	実績	-	-	-	-											
個別計画	-	改善目標	H28年度 現況の視聴覚教材を有効に貸出しできるよう広く広報する。				H29年度 現況の視聴覚機材・教材を有効に貸出しできるよう広く広報等を行う。				その他の指標						
根拠法令等	つくば市視聴覚教材機材の貸出しに関する規則	事業計画	・年間を通して旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム及び16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を貸出す。				年間を通して、視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム等及び16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を貸し出す。				事業実施コスト						
事業分類	A 任意的事業	活動実績	視聴覚機材の貸出回数：16ミリ映写機7回、ビデオプロジェクター2回、視聴覚教材の貸出回数：16ミリフィルム18個、VHSビデオテープ7個、視聴者数700名の実績となった。				上半期活動実績				H27年度決算						
執行体制	職員のみ	成果	視聴覚機材の貸出回数：計8回、視聴覚教材の貸出回数：計25個、視聴者数700名の実績となり、市内幼稚園、保育所等の情操教育の推進の一助となった。				上半期成果				H28年度決算						
事業の目的	つくば市内の学校、幼稚園、保育所等を対象とし、視聴覚ライブラリーとして、視聴覚教育への動機づけを図り、豊かな情操教育の推進を目的とする。	課題	新たな機材・教材の購入ができないため、機材・教材の老朽化への対応と市民への広報等が今後の課題である。				課題				H29年度当初						
事業の概要	図書館の視聴覚資料とは別に所蔵している旧視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・16ミリ映写機等の視聴覚教材・機材を年間を通して、市内学校、幼稚園、保育所等に貸し出す事業である。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				H30年度当初							
ISO 14001	H28環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性				H30年度当初積算根拠						
	H29環境関連性	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性				理由						
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	06	つくば市図書館協議会運営事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-									
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標	-				
実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
改善目標	-	-	-	-	-				-				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計画	-	-	-	-	-				-				事業費(A)	160千円	238千円	330千円	0千円
根拠法令等	図書館法	図書館法	事業計画	つくば市図書館協議会の開催(年3回)	事業計画	つくば市図書館協議会の開催(年3回)	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業分類	C	義務的事業	活動実績	つくば市図書館協議会の開催 7/29, 11/25, 3/15	上半期活動実績	-	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
執行体制	職員のみ	職員のみ	成果	図書館事業に関して提案した議題に対し、様々な意見が出され図書館運営に寄与した。	上半期成果	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機会を設けるため。		課題	協議会委員から幅広い意見を聞くことで、図書館運営に反映させる。	課題	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の概要	つくば市図書館協議会の開催(年3回)		評価	有効性 中:適切な成果が得られている	評価	有効性 -	一般財源	160千円	238千円	330千円	0千円	0千円	0千円				
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	人件費(B)	149千円	147千円	147千円							
	H29環境関連性	-	評価	効率性 中:適切な費用対効果が得られている	評価	効率性 -	正職員	従事割合	0.02人	0.02人	0.02人						
				総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価 -	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間							
							臨時職員等	無	無	無							
							事業コスト(A+B)	309千円	385千円	477千円							
							H30年度当初積算根拠	-					H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	07	図書館資料の収集、整理及び保存事務	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-		
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-	-	-	-
個別計画	-	-	改善目標	H28年度			H29年度			
根拠法令等	・図書館法 ・つくば市立図書館資料収集及び保存に関する方針		事業計画	・毎週図書選定委員会を開き、図書資料の選定及び発注、購入。 ・視聴覚担当者による、視聴覚資料の選定及び発注、購入。			・毎週選書委員会を開き、図書資料の選定及び発注、購入。 ・視聴覚担当者による、視聴覚資料の選定及び発注、購入。			
事業分類	C 義務的事業		活動実績	図書資料受入 21,815冊 視聴覚資料の受入 492点			上半期活動実績			
執行体制	職員のみ		成果	選書委員会において選書し、図書資料及び視聴覚資料が受入でき、利用者に提供することができた。			上半期成果			
事業の目的	雑誌・紙芝居を含む図書資料及び視聴覚資料を購入・整備・保存することによって図書館利用者の利用に供するため。		課題	書架に余裕がなく、資料の受入と同時に廃棄も行っている状態である。			課題			
事業の概要	年間を通して、利用傾向や市民要望を判断しつつ図書資料、視聴覚資料を購入し、利用のため資料を整理し保存する。また、収集及び購入の参考や利用者の資料検索のため資料データの整備や業務を円滑に行うためシステムの保全を行う。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-
ISO 14001	H28環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-		
	H29環境関連性	-		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-		
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		
			事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
			事業費(A)	36,497千円	36,383千円	36,777千円	0千円			
			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
			県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
			一般財源	36,497千円	36,383千円	36,777千円	0千円			
			人件費(B)	15,391千円	15,294千円	15,315千円				
			正職員	2.00人	2.00人	2.00人				
			従事割合	200.00時間	242.00時間	250.00時間				
			時間外勤務							
			臨時職員等	無	無	無				
			事業コスト(A+B)	51,888千円	51,677千円	52,092千円				
			H30年度当初積算根拠	-						
			H30年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名		08 図書館の広報事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-		-				
総合戦略		- - - -		実績	-	-	-	-	/		/		-		-					
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-						
根拠法令等		特になし		改善目標	図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、市広報をはじめとし継続的な情報発信を行う。				改善目標	図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、市広報をはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類		A 任意的事業		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの運営管理 ・広報つくばへの催事案内等掲載 ・南駐車場エレベーターホールへの掲示 ・図書館通信「ヨモッカ」 ・「こどもヨモッカ」 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの運営管理(随時) ・広報つくばへの催事案内等掲載(毎月) ・南駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月) ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等) ・こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等) 				内訳		事業費(A)	0千円	305千円	309千円	0千円
執行体制		職員のみ		活動実績	図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、市広報をはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的		図書館が実施している各種事業や運営方針などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進とともに、読書活動を推進するため。		成果	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの運営管理(随時) ・広報つくばへの催事案内等掲載(毎月) ・南駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月) ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧) ・「こどもヨモッカ」(年2回発行・小学校児童及び図書館利用者へ配布) 				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要		図書館ホームページの運営管理(随時)、広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)、南2駐車場エレベーターホールへの掲示(毎月)、図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧)、「こどもヨモッカ」(年2回発行・小学校児童及び図書館利用者へ配布)		課題	図書館事業への問合せや参加人数が増加している。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
		H29環境関連性		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		一般財源		0千円	305千円	309千円	0千円			
				効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		人件費(B)		743千円	733千円	733千円				
				総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		正職員		0.10人	0.10人	0.10人				
												時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間				
												臨時職員等		無	無	無				
												事業コスト(A+B)		743千円	1,038千円	1,042千円				
												H30年度当初積算根拠		-						
												H30年度の方向性		-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名		09 図書館の資料の貸出事務		指標名	貸出冊(点)数				指標種別	成果指標		指標の概要	中央図書館資料の貸出冊数(自動車図書館分を含む)										
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
総合戦略		- - - -		実績	977889	994775	987419					その他の指標	-										
個別計画		-		H28年度				H29年度															
根拠法令等		図書館法		改善目標	・市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園・小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出しをし、調査研究・レクリエーションに供する。 ・利用者が利用しやすい環境を整える。				改善目標	・市内在住・在勤・在学の個人及び市内を活動場所とする保育園、小学校等の団体利用者に利用カードを発行し、図書館資料の貸出しを行い、調査研究・レクリエーションに供する。 利用者が利用しやすい環境を整える。													
事業分類		C 義務的事業		事業計画	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し				事業計画	・利用カードの発行 ・図書資料及び視聴覚資料の貸出し													
執行体制		職員のみ		活動実績	中央図書館 貸出人数 223,274人 貸出冊数 939,530冊 自動車図書館 貸出人数 12,022人 貸出冊数 47,889冊				上半期活動実績	-													
事業の目的		図書館資料、記録その他必要な資料を収集整理及び保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。		成果	図書資料及び視聴覚資料の貸出しを行い、利用者の調査研究・レクリエーションに寄与できた。				上半期成果	-													
事業の概要		つくば市在住、つくば市通勤、通学者及び保育園、小学校等の団体利用者に対し貸出利用カードを発行し、図書資料及び視聴覚資料の貸出しをする。		課題	・4交流センター図書室のオンライン化により、市民の利用・要望も増えているため、予算の確保及び蔵書の増加による保管場所について検討が必要である。				課題	-													
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-										
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-													
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-													
ISO 14001		H29環境関連性		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-													
ISO 14001		H29環境関連性		事業実施コスト				H27年度決算				H28年度決算				H29年度当初				H30年度当初			
ISO 14001		H29環境関連性		事業費(A)				24,713千円				34,722千円				36,069千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		国庫支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		県支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		地方債				0千円				0千円				0千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		その他特財				210千円				0千円				0千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		一般財源				24,503千円				34,722千円				36,069千円				0千円			
ISO 14001		H29環境関連性		人件費(B)				37,693千円				37,293千円				37,160千円							
ISO 14001		H29環境関連性		正職員				従事割合				5.00人				5.00人				5.00人			
ISO 14001		H29環境関連性		内訳				時間外勤務				207.00時間				250.00時間				200.00時間			
ISO 14001		H29環境関連性		臨時職員等				有				有				有							
ISO 14001		H29環境関連性		事業コスト(A+B)				62,406千円				72,015千円				73,229千円							
ISO 14001		H29環境関連性		理由				-				理由				-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	61,413千円	72,857千円	74,778千円	0千円
	総人件費	90,321千円	89,287千円	89,295千円	
	総事業コスト	151,734千円	162,144千円	164,073千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	サービス係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	12	図書館運営に要する経費

事務事業名	11	図書返却事業	指標名	返却総数	指標種別	成果指標	指標の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに返却された図書資料の冊数							
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
実績					70446	83613			107689						
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-	
改善目標					・返却場所である交流センター等の配送回数の適切な対応をする。 ・市庁舎のブックポスト利用が増えることにより、回収回数を増やして対応する。				・返却場所である交流センター等の配送回数等について、適切な設定を行う。 ・市庁舎のブックポスト利用の増加に対し、回収回数を増やすなどの検討を行う。						
個別計画	-														
根拠法令等	特になし		事業計画	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポストの返却本を回収し、オンラインの4交流センター図書室の図書返却を配送することにより、市民の利便性向上に資する。				並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポストの返却本を回収し、オンラインの4交流センター図書室の図書返却を配送することにより、市民の利便性向上に資する。							
事業分類	A 任意的事業		活動実績	返却総数 オンライン4交流センター図書室 87,105冊 大穂交流センター 2,571冊 豊里交流センター 1,776冊 並木交流センター 7,217冊 広岡交流センター 128冊 市庁舎ブックポスト 8,892冊				上半期活動実績							
執行体制	職員のみ		成果	利用者のニーズに合わせ、図書の返却の回収及び配送ができた。				上半期成果							
事業の目的	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書の返却を受けることにより、市民の利便性の向上に資するため。		課題	配送に従事する職員は、自動車図書館の運転業務との兼務であるため、これ以上返却ポストを増やすことが難しく、また利用が増加するなかで、今後の配送業務については、人員確保が課題である。				課題							
事業の概要	並木・広岡・大穂・豊里の各交流センターと市庁舎のブックポスト及びオンラインの4交流センターに図書資料の返却ができる事業である。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
ISO 14001	H28環境関連性	-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-						
	H29環境関連性	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						
													H30年度当初積算根拠		
													H30年度の方向性	-	理由

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	32,075千円	32,474千円	32,312千円	0千円
	総人件費	3,714千円	3,663千円	3,669千円	
	総事業コスト	35,789千円	36,137千円	35,981千円	

部等名	課等名	係等名
教育局	中央図書館	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	02	13	オンライン地域交流センター図書室運営事業に要する経費

事務事業名	01	オンライン地域交流センター図書室運営事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-							
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
	-	-		-	-	-	-	-	-	-					
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-								
個別計画	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
根拠法令等	-	-	改善目標	・オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。 ・委託先要員の研修を行いサービスの向上を目指す。				改善目標				・オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。 ・委託先要員と連携をとりサービスの向上を目指す。			
事業分類	A 任意的事業		事業計画	業務委託契約 委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施				事業計画				業務委託契約 委託要員研修 図書資料の発注 蔵書点検の実施			
執行体制	一部委託		活動実績	業務委託契約 H28年度～30年度 委託要員研修 7月・11月 リーダー研修会 10/27, 1/26 図書資料の発注 蔵書点検の実施				上半期活動実績				-			
事業の目的	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって中央図書館と4箇所の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と地域図書館サービスの向上に資する。		成果	谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の委託要員と連携をとりサービスの向上が図れた。				上半期成果				-			
事業の概要	オンライン化されている地域交流センター図書室の業務運営を中央図書館から委託することによって、中央図書館と4箇所の交流センター図書室との連携を強化する。		課題	蔵書数が少ないため、図書資料の収集に努める。				課題				-			
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-			
	H29環境関連性	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H30年度の方向性	-	理由	-	
				効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-						
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-						